

新たに選任された委員



佐藤 清悦
(新岩手農業協同組合推薦)



中村 光雄
(山田町議会推薦)



斎藤 みつ子
(山田町議会推薦)



川村 良治
(山田町土地改良区推薦)



武藤 清吉
(宮古地域農業共済組合推薦)



向こう3年間の新体制が決まる

会長に阿部勲氏を選出

任期満了に伴う町農業委員会委員の改選が行われ、向こう3年間の農政を推進する新委員15人の顔ぶれが出そろいました。先の選挙で無投票当選を果たした10人に加え、町議会から2人、新岩手農業協同組合と宮古地域農業共済組合、山田町土地改良区からそれぞれ1人の計5人の推薦が町に対してあり、町ではこの5人を農業委員に選任。3月1日、役場町長室で5人の辞令交付式が行われ、沼崎喜

一町長から一人一人に辞令書が手渡されました。

この後、新しい委員による第1回町農業委員会総会が役場特別会議室で行われ、会長に阿部勲さん(70) 〓荒川〓を選出。同職務代理者に木村良一さん(62) 〓豊間根〓が選ばれました。そのほか各専門委員も決まり、農地調整専門委員長に伊藤進一さん(68) 〓豊間根〓、農政専門委員長に越田正一郎さん(67) 〓織笠〓が選出されました。阿部会長は「本年度実施され

宮古市の岩城さんが荒川で就農
若手農業者の誕生に期待



応援に訪れた地区住民らと作業に汗を流す岩城さん(写真右)

宮古市の岩城創さん(31)が、荒川地区のビニールハウスを借りて農業を始めます。

IT関係の会社を辞めてオーストラリアを旅したとき、「食の大切さ」を痛感し就農を決意したという岩城さん。帰国後、農業への夢を募らせ、昨年4月から一関市の農産会社で農業を学んでいます。町農業委員の木村良一さんを通じて農地を探し、5年ほど前から使われていないビニールハウス3棟を農家から借り受けることになりました。

3月29日、地域の農家や町農業委員ら25人がハウスに集まって枯れ草の刈り払いなどを手伝い、岩城さんの就農を歓迎しました。今後1年間かけて土壌作りなどを行い、来春からはホウレンソウやネギなどの野菜の有機栽培を始めます。

荒川地区は農業者の高齢化により休耕地が年々増えており、若手農業者の誕生に地域の期待も高まっています。

る個別所得補償制度モデル対策は、農政の大きな転換期となります。関係各団体の協力を得ながら適切な農地行政に努め、安定的な農業経営の確立を目指していきます。農家の皆さんの期待に応えるよう努力してまいりますので、町民の皆さんのご協力をお願いいたします」と抱負を述べています。

借りの促進や農地パトロールを通じての優良農地の確保と有効利用に努めるなど、広範囲にわたって活動しています。今回決まった委員の任期は平成25年2月末日までとなっています。

専門委員会の構成

職名	氏名	年齢	地区
会長	阿部 勲	70	荒川
農地調整専門委員会	委員長	伊藤 進一	68 豊間根
	副委員長	福土 慎治	54 織笠
	委員	佐藤 清悦	48 山田
	委員	川村 良治	54 荒川
	委員	中藤 光雄	59 豊間根
農政専門委員会	委員長	越田 正一郎	67 織笠
	副委員長	豊間根 幸健	57 石峠
	委員	瀧 磯清	63 大浦
	委員	佐々木 清通	73 荒川
	委員	武藤 清吉	73 北浜町
委員	木村 新一郎	72 大沢	
委員	木村 良一	62 豊間根	



皆さんでご参加を（昨年度の植樹祭）

緑あふれるまちづくり みんなの手で進めよう

自然の樹木や草花は、わたしたちの心を和ませ、癒やしてくれます。
緑であふれるまちづくりに、皆さんも参加してみませんか。

多年草などの苗を配布します

岩手県緑化推進委員会山田支部協議会では、潤いと安らぎのあるまちづくりを目的に、町内の道路や花壇などへの多年草や木の植栽に協力していただける団体を募集します。対象となるのは、自治会やコミュニティ、婦人会、学校などの団体で、個人の方は対象となりません。事業にご協力いただける団体の代表者は、期限までにお申し込みください。

多年草配布事業

町内の国道脇花壇やのり面などに多年草を植栽する団体に対し、苗を無償で配布します。

▽対象団体 翌年以降も継続して植え付けや管理をすることのできる町内の団体

▽配布苗種 シバザクラ、マツバギク

▽配布数量 100株以内（1団体当たり）

※申し込みの状況によっては、数量を調整して配布する場合があります。

環境緑化木無償配布事業

ツツジやアジサイなどの木を、町内の集会施設や道路などの花壇に植栽する団体に対し、苗木を無償で配布します。

▽対象団体：植栽後も継続して

管理することができ町内の団体（植栽後は、写真による植栽状況の報告が必要となります）

▽配布樹種 桜（ソメイヨシノ）、ツツジ、アジサイなど

5月9日に植樹祭を開催

山田の海を守る会では「山に広葉樹を植える運動」第10回植樹祭を開催します。

森林は、きれいな水を提供したり、洪水や土砂災害を防いだりするなど、大切な役割を担っています。「山に広葉樹を植える運動」は、先人から受け継がれてきた豊かな自然環境を守る意識の高揚を図りながら、海へとつながる森の重要性を再認識してもらおうと毎年行っているもので、これまで織笠地区の町有地におよそ6000本の苗木が植えられています。

地区に会場を移し、コナラやブナなどの苗木800本の植樹を行います。参加を希望する方は、直接会場へお越しください。

※配布する苗木には限りがありますので、配布数量は申し込みの状況により調整します。

◆配布時期 6月下旬

◆申込期限 5月14日

◆申込先・問い合わせ 岩手県緑化推進委員会山田支部協議会（町農林課内 ☎82-3111 1内線213）へどうぞ。

▽日時 5月9日（日）
午前9時～

▽場所 船越地区ロータリーの森付近（町有地）

▽持ち物 スコップ、軍手など

◆問い合わせ 山田の海を守る会事務局（町民課内 ☎82-3111 内線126）へ。

◆植樹祭の会場位置図



町長室から

今年の消防演習は、4月の中旬というのに周囲の山々が積雪で真っ白になるような異常気象の中で開催されました。早朝から参加された関係者の皆さん、裏方として各分団でお手伝いいただきました皆さんに感謝申し上げます。訓練の結果は講評官から最大級の評価をいただきました。立派なものであり、日ごろの練習の成果が十分に発揮されたものと思います。▼放水訓練会場で寒さに震えていたところへ、朗報が飛び込んできて一瞬に胸が熱くなる思いでした。盛岡市で開催された継走大会で、山田中学校チームが男女アベック優勝を成し遂げたというのです。新聞による下馬評では、男女とも優勝候補の一角には挙げられていましたが、主力選手を欠く不安も伝えられていたことから、素晴らしい結果を残した選手たちに大きな賛辞を贈ります。山中の校史に、また輝く一ページを書き加えました。

山田町長 沼崎 喜一